

平成24年1月13日

《よこしん》景気動向調査結果について

—平成23年10～12月期実績、平成24年1～3月期予想—

横浜信用金庫（横浜市中区尾上町2-16-1 理事長 斎藤 寿臣）では、定例（四半期）の「景気動向調査」を実施いたしました。調査結果の概要は以下のとおりです。

【業況判断DI】

製造業・非製造業共に回復傾向は続くもペースは鈍化

来期は3四半期ぶりに悪化を見込む

- 今期（平成23年10～12月期）の業況判断DIは $\Delta 21.1$ と、前期比 4.6 ポイント上昇したが、前期に比べて回復のペースは鈍化している。来期は $\Delta 21.8$ と、平成23年4～6月期以来、3四半期ぶりに悪化する見込みである。
- 製造業の今期業況判断DIは前期比 6.8 ポイント上昇の $\Delta 13.8$ となった。食料品、一般機械器具などでマイナス幅が縮小する一方で、精密機械器具、金属プレス・メッキで悪化するなど業況は業種ごとに傾向が分かれた。製造業の来期業況判断DIは $\Delta 14.2$ と、今期より 0.4 ポイント低下する見込みである。
- 非製造業の今期業況判断DIは前期比 3.4 ポイント上昇の $\Delta 24.8$ となった。卸売業、建設業はマイナス幅が縮小したが、小売業などは悪化した。非製造業の来期業況判断DIは $\Delta 25.7$ と、今期より 0.9 ポイント低下する見込みである。

【特別調査】 平成24年の経営見通し

- 日本の景気見通しは、「やや悪い」「悪い」が大方の見方
- 平成24年の自社の業況は、「やや悪い」「普通」が大方の見方
- 平成24年の売上額伸び率は、「変わらない」「10%未満の減少」が大方の見方
- 業況が上向き転換点となる時期は見方が分かれる、「3年後」との回答が約2割で最多
今後の成長・拡大を期待する分野は「環境・エネルギー」との回答が最多

<調査概要>

調査対象：当金庫取引先（法人・個人事業者）774先

有効回答数：752先

調査方法：各営業店職員による聞き取り調査

調査時期：平成23年12月上旬

たしかな明日のお手伝い



横浜信用金庫

神奈川・東京に60店舗